

科目名	和声Ⅲ	授業期間	通年
担当教員	糺場富美子、荒尾岳児、久田典子	科目 No.	CMT3311
受講対象	声楽演奏家コース、声楽、ピアノ演奏家コース、ピアノ、弦楽器、管打楽器、音楽教育3・4年	単位数	2単位

目 標 ／ 概 要	<p>目標：和声Ⅱの内容をさらに進め、転調、副属七、装飾を含むソプラノ課題を実施する。 また古典派、ロマン派の楽曲の和声を理解する。</p> <p>概要：「和声 理論と実習Ⅱ」の復習とともに「総合和声」の実技篇（第3章及び第7章を中心に）と分析篇（第1、3、4章を中心に）を学ぶ。授業内容は変更する場合がある。</p>
-----------------	---

授 業 計 画	春 学 期					
	1	クラス分け試験（習熟度に応じてクラスを分ける）				
	2	和声Ⅱ II_7 及び準固有和音の復習				
	3	和声Ⅱ $\check{\text{V}}_7$ 、 $\check{\text{V}}_7$ 、 $\check{\text{V}}_9$ の和音の復習				
	4	和声Ⅱ $\check{\text{V}}_7$ （下方変位）の和音の復習				
	5	総合和声（実技篇）第2章 V_7 の和音を含むソプラノ課題におけるソプラノの定型の理解				
	6	総合和声（実技篇）第2章 V_7 の和音を含むソプラノ課題の実施				
	7	総合和声（実技篇）第3章 転調を含むバス課題における転調の仕方				
	8	総合和声（実技篇）第3章 転調を含むバス課題の実施				
	9	総合和声（実技篇）第3章 転調を含むソプラノ課題における転調の仕方				
	10	総合和声（実技篇）第3章 転調を含むソプラノ課題の実施				
	11	総合和声（実技篇）第3章 借用和音の理解 前置和音としての副 V_7				
	12	総合和声（実技篇）第3章 副 V_7 の和音を含むバス課題の実施				
	13	総合和声（実技篇）第3章 副 V_7 の和音を含むソプラノ課題の実施				
	14	総合和声（分析篇）第3章 調と楽曲構成（楽曲における調関係）／転調・借用の復習				
	15	総合和声（分析篇）第3章 調と楽曲構成（楽曲における調関係）に関する課題の実施				
	秋 学 期					
	1	総合和声（分析篇）第3章 ソナタ形式（長調及び短調楽曲の調構成）／転調・借用の復習				
	2	総合和声（実技篇）第7章 転位形態（非和声音）の理解と基礎課題の実施				
	3	総合和声（実技篇）第7章 転位、修飾、主音上の V_7				
	4	総合和声（実技篇）第7章 装飾を含むソプラノ課題の説明（4週に亘り実施する）				
	5	総合和声（実技篇）第7章 装飾を含むソプラノ課題の実施				
	6	総合和声（分析篇）第1章 旋律中の装飾音（転位・修飾）、単純な転位形態の分析				
	7	総合和声（分析篇）第1章 連続転位 2次転位の分析、ゆれと力性の理解				
	8	総合和声（分析篇）第4章 副Vの和音を含む楽曲の分析（実技篇）第8章 反復進行（正・準正）				
	9	総合和声（分析篇）第4章 副Vの和音を含む楽曲の分析 課題の実施（実技篇）第8章 反復進行（変・複合）				
	10	総合和声（分析篇）第4章 準固有和音及び $\check{\text{V}}$ を含む楽曲の分析（実技篇）第8章 模倣反復進行				
	11	総合和声（分析篇）第4章 $\check{\text{V}}$ 諸和音を含む楽曲の分析（実技篇）第8章 厳格様式バス課題説明				
	12	総合和声（分析篇）第6章 反復進行（実技篇）第7章 ソプラノ課題の復習				
	13	転調・借用を含む和声課題、装飾を含むソプラノ課題の実施				
14	非和声音を含む和声分析課題の実施					
15	理解度の確認					

準備学習の内容	授業内で実施する課題数は限られているので、各自課題を実施し授業に臨むこと。					
履修上の注意	「和声Ⅱ」または「実用和声Ⅱ」の単位取得者であることが履修条件となる。 組み分け試験を必ず受けること。クラスによって進度は異なる。					
評価方法	試 験	課題(レポート含)	発 表	平常点	その他	合 計
	80%			20%		100%
	補 足	年度末に統一試験を行う				
教材等	「和声 理論と実習Ⅱ」、「総合和声」（実技篇）					